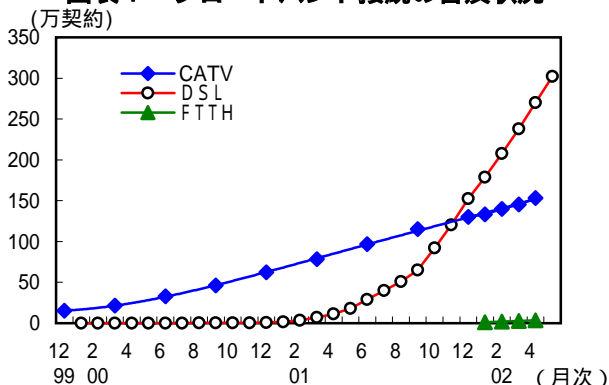


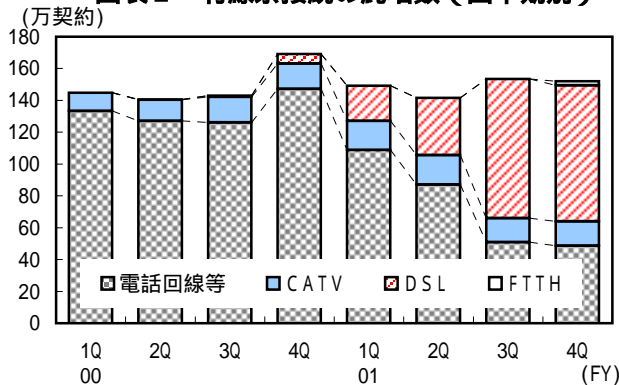
急速に普及するインターネットブロードバンド接続

- ・ブロードバンド接続（高速・大容量のインターネット接続、以下“BB接続”）が、定額料金での常時接続サービスとして急速に拡大している。
- ・日本のBB接続は、CATV（注1）網を活用した接続が先行、DSL接続（注2）は2000年8月より本格的サービスが開始された。その後、2001年9月の新規参入により定額料金が大幅に引き下げられたこと等から加入者数が急増し（図表1）、同年12月にはCATV接続数を上回り、2002年5月末で累計加入者数は300万契約を超え、さらに拡大を続けている。
- ・2001年度第3四半期以降、有線系インターネット接続契約の純増加分の2/3はBB接続となっている。（図表2）BB接続世帯普及率は2002年3月末で8.2%（2001年3月末：1.8%）に達したとみられ、さらに、2003年3月末：24.8%、2004年3月末：47.3%と、引き続き急速に普及していくものと予測されている。（出所：注6）
- ・光ファイバー接続サービス（以下“FTTH”、注3）も2001年より本格サービスが開始されている。2002年に入り、低料金での新規参入が相次ぎ、定額料金の大幅低下が起こっている。現在、FTTHは、サービス提供エリアが限定的であるが、本年度以降エリア拡大が計画されておりFTTHも急速に普及するものと予測されている。

図表1 ブロードバンド接続の普及状況



図表2 有線系接続の純増数（四半期別）



図表3 累計加入契約数の推移

（左欄は月末加入契約数で、単位：万契約、右欄は前年同月比増減率で、%）

	電話回線等		ブロードバンド接続					<参考> 携帯電話		
			CATV	DSL	FTTH	合計				
2000年度	1,727		78	-	7	-	-	85	-	3,457
2001年度	2,023	17%	146	86%	238	3267%	2.6	386	352%	5,193
2001/										
4	1,767	42%	-	-	11	28016%	-	-	-	3,694
5	1,803	40%	-	-	18	23418%	-	-	-	3,866
6	1,836	38%	97	194%	29	23490%	-	126	281%	4,037
7	1,865	36%	-	-	40	24869%	-	-	-	4,217
8	1,899	35%	-	-	51	23950%	-	-	-	4,355
9	1,923	32%	115	149%	65	25552%	-	180	287%	4,494
10	1,940	30%	-	-	92	28972%	-	-	-	4,618
11	1,953	27%	-	-	120	22428%	-	-	-	4,718
12	1,974	25%	130	108%	152	15580%	-	283	345%	4,850
2002/										
1	1,995	23%	133	-	179	10939%	1.2	313	-	4,944
2	2,008	21%	140	-	208	5941%	1.8	349	-	5,034
3	2,023	17%	146	86%	238	3267%	2.6	386	352%	5,193
4	2,282	29%	153	-	270	2306%	3.5	427	-	5,297
5					302	1590%				5,372

（注1）CATV：ケーブルテレビ網を利用した接続サービス。（事業用含む）

（注2）DSL：Digital Subscriber Line。既存電話回線を活用した接続方式。本統計は東西N T Tの端末回線を利用して提供されているものを対象としている。

（注3）FTTH：Fiber to the Home。光ファイバー網を利用した一般家庭向け接続サービス。

（注4）電話回線等：ダイヤルアップ型接続で、1999/12時点大手ISP15社ベース。（原データは指数値で、総務省にて概算値に換算）

（注5）携帯電話：携帯電話によるインターネット接続サービス。iモード、EZweb、J-Skyのサービス利用者数合計。

（注6）BB普及率推計及び予測は、（株）情報通信総合研究所「インターネット普及予測調査」（2002/05）による。

（備考）1.総務省資料により作成。

2.CATVは2002/1より毎月発表（従前は3ヵ月毎）、FTTHは同月より発表開始。

[調査部(産業調査担当) 藤ノ木 健一]

お問い合わせ先 日本政策投資銀行調査部

Tel: 03-3244-1840

E-mail: report@dbj.go.jp